

ア プロジェクトを構成する4つの施策

- ① 児童生徒の学力の現在地の把握
 - 久喜市ステップアップテスト（KST）毎月実施
- ② 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
 - 久喜市学力向上推進研究委員会、学校訪問、校内研修支援
- ③ 自ら学ぶ家庭学習の推進
 - 久喜市版「家庭学習の手引き」、KSTと連動した個別の復習シート
- ④ 個に寄り添う補習学習の推進
 - 地域人材が講師となる無料の学習塾「くき本樹塾」

イ 4つの施策の中心となる「久喜市ステップアップテスト」

- ① 調査の目的
 - ・児童生徒の「学力の現在地」を継続的に把握する。
 - ・教職員に毎月全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の問題に触れる機会を提供し、授業改善に役立てる。
 - ・各学級の「学力の現在地」及び「学力の伸び」を把握し、上位3学級を紹介することで、教職員の意欲喚起を図るとともに、優れた取組を紹介することで学級の取組改善に役立てる。
 - ・一人一人の正答状況に合わせた補習問題を家庭及び「くき本樹塾」に提供することで、個に応じた学習支援を家庭・地域で行えるようにする。
- ② 調査の対象
 - ・小学4年生～中学3年生
- ③ 実施の方法
 - ・平成30年度は5・6・7・9・10・11・12・1～2月の全8回
 - ・小学校は国語と算数、中学校は国語と数学と英語
 - ・各教科9問15分で実施
 - ・最終1問の記述式問題のみ学校で採点（全国学調のB問中心に出題）
 - ・返却される個票には、学力の現在地、これまでの学力の現在地の推移、個人・学級・参加校の正答状況と学力の伸び、個の課題に合わせた補習問題コードを記載【資料2 返却される個票】
 - ・得点率分野・学力の伸び分野第3位までの学級を紹介

【資料2-1 KST結果個票（表）】

【資料2-1 KST結果個票（裏）】

The image displays two pages of the KST result sheet. The left page, titled '久喜市ステップアップテスト (KST) 12月', shows the front side with columns for '国語' (Japanese) and '算数' (Arithmetic). It includes a grid for individual student scores and a bar chart showing the distribution of scores across the school. The right page, titled '結果の見える方', provides a detailed analysis of the results, including a '学力の現在地' (Current Academic Standing) section and a '各学級ごとの取組の取組' (Classroom Activities) section. It also includes a QR code for more information.

ウ 授業改善に向けて

① 久喜市学力向上推進研究委員会

市が委嘱した15名の教員による研究委員会を設置し、単元構想シートによる授業計画と実践、検証を行っている。

② KSTの活用

KSTの問題は、コバトン問題集と全国学力・学習状況調査の問題を中心に作成している。コバトン問題集自体が全国学力・学習状況調査の問題に埼玉県学力・学習状況調査の問題の難易度表示を添付したものであるから、つまりKSTは、育むべき力を毎月各校教員に示していることになる。このKSTの問題を各校の教員が1問採点する機会を提供することで、どのような資質・能力を育む必要があるのかを自ずと把握でき、授業改善に役立てることができる。

また、KSTは、一人一人の学力の伸びが把握できる埼玉県学力・学習状況調査の仕組みを取り入れているため、その結果を分析、検証することで、各学校、各学級、各児童生徒の課題を明らかにし、より実態に即した授業を企画することができる。

さらに、このテストを教育委員会で取りまとめていることから、各学校の学力の実態をより正確に捉えることができ、実態に合わせた学校訪問や校内研修の支援ができる。

エ 家庭学習の充実にに向けて

① 久喜市版「家庭学習の手引き」の提供

発達段階別に作成した久喜市版「家庭学習の手引き」を各学校へデータで提供することで、各学校の実態に合わせて改変を加えながら配布できるようにしている。また、KSTサイトの紹介や活用方法についても記載し、家庭学習との連携を促進している。

【資料4 久喜市版「家庭学習の手引き」(抜粋)】

The image displays three panels of educational materials. The left panel is the cover of the 'Family Learning Guide' (家庭学習の手引き) for the city of Kiki, featuring icons for reading, smiling, breathing, and walking. The middle panel is titled 'Do you know KST?' (「KST」をご存知ですか?) and explains the 'KST' (Kiki Step-up Assessment Test) as a monthly practice tool for students, including a QR code and a QR code for the KST website. The right panel is titled 'Middle School 1-3 Grade' (中学校1～3年生) and provides study tips for students, including a table with 'Language' (国語) and 'Social Studies' (社会) sections, each with 'Study Tips' (学習のヒント) and 'Study Tasks' (学習の任務).

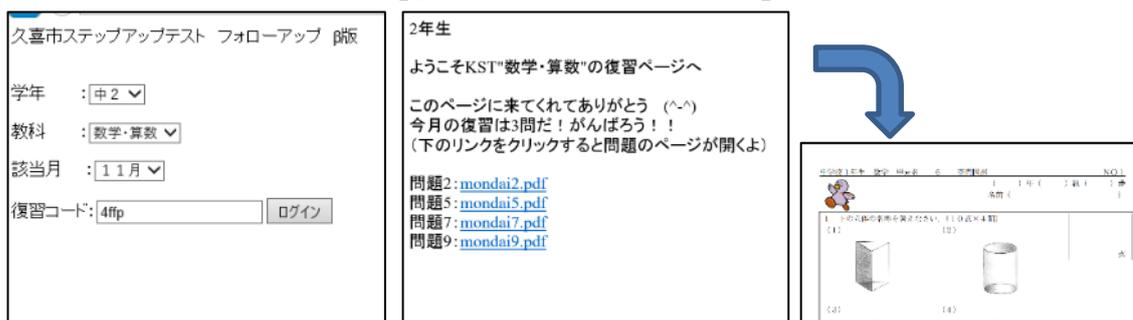
【資料3 単元構想シート】

The image shows a 'Unit Concept Sheet' (単元構想シート) for a 5th-grade unit on 'The Tale of Genji' (源氏物語). The form includes sections for 'What can be done?' (何ができるようになるか), 'Name of the unit' (単元名), 'How to use the unit' (この単元をどう使うか), 'How to use the unit' (この単元をどう使うか), and 'How to use the unit' (この単元をどう使うか). It features a flowchart with arrows indicating the sequence of activities and a table for 'How to use the unit' (この単元をどう使うか).

② K S Tの結果個票の提供

K S Tの結果を受けて、学力の現在地、これまでの学力の現在地の推移、個人・学級・参加校の正答状況と学力の伸び、個の課題に合わせた補習問題コードを記載した個票を各家庭に配布している。この個票にはQRコードが添付されており、web上のK S Tサイトから自動で編集された各児童生徒に合わせた復習問題がダウンロードできるようにしている。

【資料5 K S Tサイト】



The image shows a screenshot of the KST website. On the left is a login form with fields for '学年' (Year) set to '中2', '教科' (Subject) set to '数学・算数', '該当月' (Month) set to '11月', and '復習コード' (Revision Code) set to '4fp'. A 'ログイン' (Login) button is present. On the right is a page for '2年生' (2nd year) with a welcome message and a list of practice problems: '問題2:mondai2.pdf', '問題5:mondai5.pdf', '問題7:mondai7.pdf', and '問題9:mondai9.pdf'. A blue arrow points from the text area to a smaller screenshot on the right showing a problem interface with a 3D diagram of a cylinder.

オ 地域人材が講師となる無料の学習塾「くき本樹塾」

市が委嘱した地域人材を講師とする毎週1回2時間の無料放課後学習塾「くき本樹塾」を全中学校に設置した。この「くき本樹塾」にK S Tの補習問題コード一覧を提供することで、家庭での補習に加えて地域でも個に応じた学習支援ができるようにしている。

【資料6 くき本樹塾 活動の様子】



3 研究の成果と課題

(1) 成果

埼玉県学力・学習状況調査結果及び全国学力・学習状況調査結果から、学力を伸ばした児童生徒の割合、平均学力レベルが向上しただけでなく、無回答率の減少、記述式問題の正答率の向上が見られ、市全体の学力が向上していることは明らかである。これらは、学校・家庭・地域の努力の賜物であるが、市の取組もその一助となっていると確信している。

(2) 課題

K S Tサイトのアクセス数が伸びないことと、担当が変わっても継続できる仕組みにパッケージすることが課題である。これらの課題解決のために、K S Tサイトのバージョンアップとアプリケーション化を現在進めている。